

野田川・岩滝地域の各校に 学校運営協議会を設置し、 運用を開始しました。

与謝野町では、地域の方々に主体的に学校教育に携わっていただくなど、以前から地域と学校との協働・連携があります。各小・中学校では、地域人材や財産などを積極的に活用する取り組みを進めてきています。今月号では、今年度に行なわれたコミュニティ・スクールの活動を紹介いたします。

☎ 社会教育課 43・9026



上／きれいになったマラソン大会のコースを走る山田小学校の児童たち
下／マラソン大会で子どもたちが安全に走れるように見守る岩滝小学校の保護者や地域の方々

地域と学校が
一体となって
子どもたちに
より良い教育を

コミュニティ・スクールは、学校運営協議会が設置された学校のことです。学校運営協議会で重ねた熟議の内容を共有し、学校と地域がより一層連携を深め、学校をサポートしていきまします。このように、学校と地域が力を合わせて学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」と、学校と地域が相互にパートナーとして行う「地域学校協働活動」の一体的な実施を推進することによって、より効果的なものになります。

与謝野町では、昨年度の加悦小・中学校学校運営協議会に続き、今年度は野田川地域、岩滝地域の各校（橋立中学校を除く）に学校運営協議会を設置し、運用を開始しました。



地域の強みと
学校の強みを
子育てにつなげる

これからはより一層、学校の教育状況の理解、児童・生徒・地域の状況について交流を進め、地域での子育ての成功事例から本質を学び、学校教育に取り込んでいくことが大切になってきます。また、子どもたちが学校で培った力を地域の行事への参加や、地域の方との触れ合いにいかしていくことなど、子育て協働の共有、成功の共有の取り組みへと発展させていく予定です。

橋立中学校は
令和7年度から
運用を開始します

橋立中学校は、与謝野町と宮津市との組合立の中学校のため、コミュニティ・スクールの運用に向けて調整を進めてきました。今般、両市町での調整ができ、来年度から実施する運びになりました。

コミュニティ・ スクールの

活動紹介

今、学校が抱えている子どもたちの現状について、地域と学校が一緒になって考え、子どもたちの将来に向けて課題を解決して、いこうという立場に立って意見を述べ、地域の人材や財産を活用した事例です。

三河内小学校 — 第1回学校運営協議会で子どもの未来像を共有 —

「どんな子どもを育てばよいのか？」出席委員の一人ひとりが「こんな子どもに育ってほしい」という意見を出し合い、地域の方が考える子ども像、学校がめざしている子ども像を重ね合わせ、三河内の子どもの未来像を共有。未来を担う子どもたちの豊かな成長のために「どのような子どもを育てるのか」「何を実現していくのか」という目標やビジョンを共有するコミュニティ・スクールの根幹となる話し合いになりました。



意見出しをする学校運営協議会の様子

山田小学校 — マラソン大会前のコースの整備 —



刈り草を集める児童と地域の方々

マラソン大会前、コース沿いはうっそうとした草が左右を覆い、毎年、走る子どもたちの妨げになっています。学校運営協議会では、子どもたちの力を最大限引き出せるように「草刈りをしてコースの環境を整備しよう」となり、コース沿いの刈り取られた草を地域の方々と子どもたちで取り除く作業を実施。大会当日は、広くなったコースを子どもたちは力いっぱい駆け抜けました。

地域の力をいかした教育活動を行なうことで、子どもの学びが充実します。また、学校を核とした子育て世代と地域の方々との一層のつながりにより、安心・安全な地域が生まれ、地域みんなで子どもを育ててもらえるという安心感も生まれる事例です。

岩滝小学校 — マラソン大会当日の安全確保に地域の協力 —

学校運営協議会では、学校教育目標の「3つの『あ』（あんぜん・あいさつ・ありがとう）」から、「あんぜん」を柱に活動を進めることになりました。子どもの安全は第一であるとの共通理解の下、夏季休業中の校地除草への参加、走路員としてマラソン大会の安全確保を地域に呼びかけました。マラソン大会当日は、保護者をはじめ長寿会などの多くの方の応援を受け、安全に走ることができました。



地域の方々に見守られ力いっぱい走る児童たち